

別表3

環境に優しい自動車整備事業場等審査基準

項目	審査事項	審査基準・審査方法	事業場の区分							
			整備事業		販売事業					
			分	車	電	自	タイ	部		
			解	体	装	動	車	ヤ	品	
I 地球 温暖 化防 止対 策	1 二酸化炭素（CO ₂ ）の排出量を把握していること。〈支局長表彰〉									
	二酸化炭素(CO ₂)の排出量を把握していること。(少なくとも表彰年度の前年度1年間)	① 把握方法は、日整連の環境家計簿又はこれに準じたシステムを使用。 ② 環境家計簿以外を使用する場合は、把握を行うべき事項(電気・ガス・ガソリン等)については、日整連の環境家計簿に準ずる。 ③ 自宅と事業場が一体等でCO ₂ 排出量の切り分けが困難な場合は、基本的に全てを合算して排出量の集計を行う。 ④ 排出量の把握時期は、4月から翌年3月までとする。 【日整連の環境家計簿システムでは総排出量グラフと利用者情報欄をプリントしたもので確認。他のシステムではこれに準ずるもので確認】	○	○	○	○	○	○	○	
	二酸化炭素（CO ₂ ）の排出量を削減していること。〈局長表彰〉									
	二酸化炭素(CO ₂)の排出量を運輸支局長表彰審査対象年度と運輸局長表彰審査対象年度を比較して、運輸支局長表彰審査対象年度のCO ₂ 排出量よりも削減されていること。(CO ₂ の排出量の把握については少なくとも表彰年度の前年度1年間) なお、事業規模拡大等により運輸支局長表彰対象年度と、運輸局長表彰審査対象年度を比較し、削減することが困難な場合であっても、経過理由書により運輸支局長表彰授賞後も環境に配慮した取組みの継続や、新たな取組みの実施が確認できれば運輸局長表彰候補者とすることができ ※1、※2	① 把握方法は、日整連の環境家計簿又はこれに準じたシステムを使用。 ② 環境家計簿以外を使用する場合は、把握を行うべき事項(電気・ガス・ガソリン等)については、日整連の環境家計簿に準ずる。 ③ 自宅と事業場が一体等でCO ₂ 排出量の切り分けが困難な場合は、基本的に全てを合算して排出量の集計を行う。 ④ 排出量の把握時期は、4月から翌年3月までとする。 【日整連の環境家計簿システムでは総排出量グラフと利用者情報欄をプリントしたもので確認。他のシステムではこれに準ずるもので確認】	○	○	○	○	○	○	○	
2 CO ₂ 排出量の削減に繋がる次の取組みを行っていること。										
(1)エアコンプレッサの圧縮エア漏れの防止	圧縮エア漏れ防止のため、定期的な点検とその後の保守管理を行っていること。 【社内規程類・会議記録の写し、掲示物の写真等で確認】 例：年1回は工場全体のコンプレッサ及び配管・継ぎ手・バルブ等からの、月1回は整備作業終了後にホース・エアツールからのエア漏れ点検を行い、必要な保守作業を実施している。	○	○	○	○	○	○	○		
(2)洗車時の節水の実行	具体的な節水方法を定め、従業員に周知し実行していること。又は、年間の水道使用量が、前年の年間使用量より減少していること。 【水道使用量比較、会議記録の写し等で確認】 例： ・週1回、洗車機、マット洗い機、ホースの水漏れチェックを行っている。 ・洗車ホース及び水道ノズルに節水ノズル等を装着することにより、目標値の昨年の使用量より10%削減を行った。	○	○	○	○	○	○	○		

(3)温水洗車機の灯油等の使用量の削減	不要な温水の停止、必要に応じた温度の調整、効率的な洗車の実施を行っている。 【製品・掲示物の写真、会議資料等で確認】 例： ・冬季の温度設定を低めにするとともに、夏季や中間期は給湯をOFFにしている。 ・洗車の方法をパターン化し、洗い直し等の無駄をなくしている。	○	○	○			
(4)適切な室温の設定・管理	次のどちらかを確認すること。 ① 接客場所以外は、推奨温度(夏期28℃以上、冬季20℃以下)に努めることを従業員に周知していること。 例：社内に推奨温度を掲示。社内会議等での周知 【議事録等で確認】 ② グリーン購入法適合品又はグリーン購入法推奨商品の空調機器を購入し使用していること。 【購入した空調機器が基準適合品であることがわかる書類及び間違いなく購入しているわかる領収書又は納品書の写し添付。】	○	○	○	○	○	○
(5)照明電力の削減の実施	外光の活用、省エネ型の照明器具の導入を図るとともに、無駄な照明の削減について、具体的に従業員に周知していること。 【写真、掲示等で確認】 例：白熱電球をLED電球に交換、間引き照明、晴天時の窓際照明の消灯、休憩時間の消灯、作業後の作業灯のこまめな消灯	○	○	○	○	○	○
(6)省エネ機器の活用	各機器を更新する際にエネルギー効率の良い機器を選択していること。 【写真、カタログ等で確認】 例：機器の老朽化に伴い、省エネ対応機器に更新した。	○	○	○	○	○	○
(7)不要な電源オフの実行	具体的な節電方法を定め、従業員に周知し実行していること。又は、年間の電力使用量が、前年の年間使用量より減少していること。 【掲示物の写真、会議資料等で確認】 例： ・整備作業の必要に応じ、こまめに機器の電源オフを実行している。 ・トイレ及び廊下の照明を感知式の照明機器に変更し、目標値の昨年の使用量より10%削減を行った。	○	○	○	○	○	○
(8)待機電力の削減	待機電力の削減について、具体的な装置名等を明示したうえで、従業員に周知していること。 【製品・掲示物の写真、会議資料等で確認】 例：スイッチ付コンセントの導入、テレビの主電源を切る、電源アダプタのコンセントを抜く等の内容を、事務室内・作業場内等に掲示し周知している。	○	○	○	○	○	○
3 CO2削減に効果のある点検整備について次の取組みを行っていること。							
(1)点検整備がCO2削減に効果があることの広報(ポスター、チラシ、口頭等)を行っていること。	【掲示物の写真、会議資料等で確認】 例：事務所内の待合スペースにポスター掲示、チラシ配置。	○			○	○	
(2)社用車及び従業員の所有する車(マイカー)は、全て定期点検整備を実施していること。	【台帳写し、写真等で確認】 例： ・社用車及び従業員の所有する車両の車両台帳を作成し、定期点検の実施状況を確認。 ・社用車の現車確認又は写真等で点検整備済みステッカーを確認。	○	○	○	○	○	○

	(3)各事業場の事業計画に基づき定期点検整備等の促進を積極的に行っていること。	定期点検整備等の入庫促進の年間計画(事業計画)を立て、具体的な促進策を実施していること。 【計画書等で確認】 例： ・ハガキ、電話で定期点検の案内を行っている。 ・車検納車時に半年後のオイル交換割引券を配布している。	○				○				
	4 その他環境負荷の低減について次の取り組みを行っていること。										
I 地球温暖化防止対策	(1)環境対応型部品、商品等の導入に積極的に取り組んでいること。	グリーン購入法適合商品又はグリーン購入推奨商品の部品を使用していること。 【製品表示写真等で確認】 例：タイヤ、ETC、カーナビ、塗料など。	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(2)資源再利用又はペーパーレス化等により紙使用量を削減していること。	次のどちらかを確認すること。 【議事録等の資料で確認】 ① 事業場全体でペーパーレス化に努めるため社内会議等において、その周知及び実績を評価していること。 ② 資源再利用を行うことを従業員に周知し、社内会議等においてその成果を評価していること。	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(3)事務用品等にグリーン購入法判断基準適合品又はエコマーク商品認定品を積極的に導入していること。	事務用品等を購入する際は、事務用品等にグリーン購入法判断基準適合品又はエコマーク商品認定品を選定することを社内周知していること。 【議事録、製品表示等の資料で確認】	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(4)環境に関する社内研修・会議等を定期的に開催し、会議等で提案された改善対策が確実に実行されていること。	過去1年間に開催された社内会議等の議事録に次の事項が記録されているか、又は、環境マネジメントに関する国際規格(ISO14001)の認証若しくは環境省のエコアクション21の認証を取得していること。 (議事録記載事項) ①事業場独自の取り組みを決定したこと ②決定した取り組みを実行したこと ③従業員のエコドライブの実践状況を検証したこと ④従業員に対して定期点検整備の重要性・必要性について説明したこと ⑤電気・ガス・水道・紙の使用量の推移を出席者に説明したこと 【議事録、認証書等で確認】	○	○	○	○	○	○	○	○	
II リサイクル部品の活用	リサイクル部品の活用を促進するため次の措置がされていること。										
	(1)受付窓口等へリサイクル部品取扱可能な旨の表示をしていること。	【写真等で確認】	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(2)部品交換が必要な整備について、ユーザーに対しリサイクル部品の取扱が可能である旨の情報提供を行っていること。	【情報提供を行うことの社内周知資料等で確認】 例：交換部品の連絡の際に、新品部品とともにリサイクル部品の価格を併せて説明。	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(3)リサイクル部品の保証について説明していること。	【保証期間の記載された納品、請求書の写し等で確認】 例：納車時の整備内容説明時にリビルト部品の保証期間を説明。	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(4)リサイクル部品について、使用状況の把握を行っていること。	期間内のリユース・リビルト部品の使用状況を把握していること。 【使用状況表等で確認】	○	○	○	○	○	○	○	○	
III 環境対策	事業場の整理整頓及び環境対策について次の取り組みを行っていること。										
	(1)整備作業場や駐車場の清掃に努め、油脂類を原因とする悪臭等を防止していること。	【作業場、駐車場の写真等で確認】	○	○	○	○	○	○	○	○	
	(2)排水溝や油水分離槽の清掃を定期的に行い、河川への汚水流出防止に努めていること。	【排水溝、油水分離槽内、敷地よりの排水口の写真等で確認】	○	○			○				
	(3)洗車場汚水等の外部への飛散防止が図られていること。	【洗車場の配置状況のわかる写真で確認。外部への飛散の恐れがある場合は飛散防止用の壁、カーテン等の写真で確認】	○	○			○				

	(4)敷地内の雑草の除去等、整理整頓をしていること。	【写真等で確認】	○	○	○	○	○	○	○
	(5)工場設備の防音対策や夜間作業時間の削減等、近隣への騒音防止対策について配慮していること。	【防音対策設備の場合は写真等を、夜間作業時間削減等の場合は具体的な対策を明記した資料を添付】	○	○	○	○	○	○	○
IV 使用済み自動車の適正処理	使用済み自動車の処理を適正に行っていること。								
	(1)自動車リサイクル法の引取業又はフロン類回収業の登録をしている場合、標識を公衆の見易い場所に掲示していること。	【写真等で確認】	○	○	○	○			
	(2)引取・引渡に係る移動報告、最終所有者への引取証の交付が適正に行われていること。(引取業者)	【報告書等又は引取証の写しで確認。実施していない場合は不要】	○	○	○	○			
	(3)フロン類の取扱い、処理実績報告が適正に行われていること。(フロン回収業者)	【写真、報告書写しで確認。実施していない場合は不要】	○	○	○	○			
	(4)エアバッグの車上作動処理又は取外しについて、周辺環境に配慮していること。(解体業者)	【作業状態の写真で確認。実施していない場合は不要】	○			○			
V 廃棄物の処理	廃棄物の処理を適正に行っていること。								
	(1)使用済み自動車、廃油(エンジンオイル・ミッションオイル・デフオイル等)、廃液(LLC・シンナー・ウインドウオッシャー液等)、廃バッテリー、廃タイヤ、廃部品(鉄・非鉄金属・プラスチック・ゴム・ガラス等)の運搬及び処理について、他者に委託して行う場合、契約を締結していること。	【契約書の写しで確認】	○	○	○	○	○	○	○
	(2)廃棄物の保管を適切に行っていること。(敷地内に野積みしていないこと)	【保管状況の写真で確認】	○	○	○	○	○	○	○
	(3)ダイオキシンの発生原因となる廃棄物の焼却をしていないこと。	【焼却炉の設置又は使用をしていない旨の申告により確認】	○	○	○	○	○	○	○

※1「運輸支局長表彰審査対象年度」と「運輸局長表彰審査対象年度」が連続した年度でない場合には、「運輸支局長表彰審査対象年度」を「運輸支局長表彰審査対象年度または、運輸局長表彰審査対象年度の前年度」と読み替えることができる。

※2経過措置

平成24年度までに「環境に優しい自動車整備事業場」支局長表彰を授賞した事業場において局長表彰の申請を行う場合にあっては、比較する「運輸支局長表彰審査対象年度」は「局長表彰審査対象年度の前年度」と読み替えるものとする。

【様式例】 _____ 運輸局長表彰候補者 経過理由書

平成 年 月 日

_____ 推進協議会

会 長 _____ 殿

本記載事項に相違ありません。
 表彰候補者の審査において、_____ 推進協議会が下記事業場の書類やヒアリング審査等を行う時には、その審査に協力することに同意の上
 運輸局長表彰候補者として申請します。

事業者名 _____

代表者氏名 _____

印

事業者住所	〒 _____ 電話番号 (_____)				
業 種	_____		所属団体名	_____	
事業場等名称	_____				
事業場等住所	〒 _____ 電話番号 (_____)				
担当者氏名・役職	氏 名	_____		役 職	_____
認 証 番 号	_____	指 定 番 号	_____	優 良 認 定 番 号	_____
運輸支局長表彰授賞年度	平成 _____ 年度	平成 _____ 年度	平成 _____ 年度	平成 _____ 年度	_____
事業場等における CO ₂ 排出量	運輸支局長表彰 審査対象年度		運輸局長表彰審査対象年度		対象年度比率
	年度	_____ kg-CO ₂	年度	_____ kg-CO ₂	CO ₂ 排出量 % 増加
CO ₂ 排出量確認書類	_____				

■ CO₂排出量が増加した主な理由（該当する数字を○で囲むこと。）

1 業種拡大	2 営業日数、時間帯延長	3 事業場面積の拡張
4 事業場移転	5 入庫台数増加	6 事業場の合併
7 その他 (_____)		

CO₂排出量が増加した理由説明（その他、関係書類の確認）

■環境に優しい新たな取り組み等の実施状況

■環境に優しい取り組み継続性について

<p>環境に優しい取り組みの継続性を確認でき、表彰候補者として推薦します。</p>	
<p>平成 年 月 日</p>	
<p>_____ 推進協議会</p>	
<p>_____ 会長</p>	<div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> 印 </div>

【記入上の注意】

1. 「事業場等名称」「事業場等住所」欄は、表彰候補者として申請する事業場を記入すること。
2. 「CO₂排出量増加の理由」欄は、該当する数字を○で囲むこと。
3. 「CO₂排出量増加の理由」欄に○を付した項目について、それらの要旨を理由説明欄に記入すること。
4. CO₂排出量増加の理由を確認できる書類を添付すること。
5. 環境に優しい新たな取り組み等を確認できる書類等を添付すること。

(注) これは様式1の裏面です。様式1は両面刷りで作成すること。

【記入例】 ○○○○運輸局長表彰候補者 経過理由書

環境に優しい自動車整備事業場等○○推進協議会

平成 ○○年 ○○月 ○○日

会長 ○ ○ ○ ○ 殿

本記載事項に相違ありません。
表彰候補者の審査において、環境に優しい自動車整備事業場等○○推進協議会が下記事業場の書類やヒアリング審査等を行う時には、その審査に協力することに同意の上「環境に優しい自動車整備事業場等」○○運輸局長表彰候補者として申請します。

事業者名 ■■自動車株式会社

代表者氏名 代表取締役社長 ○ ○ ○ ○



事業者住所	〒 000-0000 電話番号 00 (0000) 0000		
	●●県××市○○ ○丁目○番地		
業種	自動車整備業	所属団体名 ○○県自動車整備振興会	
事業場等名称	■■自動車株式会社 △△整備工場		
事業場等住所	〒 000-0000 電話番号 00 (0000) 0000		
	●●県△△市○○ ○丁目○番地		
担当者氏名・役職	氏名 ○○ ○○	役職 ○○部マネージャー	
認証番号	000	指定番号 0-000 優良認定番号	
運輸支局長表彰授賞年度	平成 ○○ 年度	平成 ●● 年度 平成 年度	
事業場等におけるCO ₂ 排出量	運輸支局長表彰審査対象年度	運輸局長表彰審査対象年度	対象年度比率
	●●年度 0,000 kg-CO ₂	□□年度 0,000 kg-CO ₂	CO ₂ 排出量 0.00% 増加
CO ₂ 排出量確認書類	電気使用量の領収書等		

■CO₂排出量が増加した主な理由（該当する数字を○で囲むこと。）

1	業種拡大	2	営業日数、時間帯延長	3	事業場面積の拡張
4	事業場移転	5	在庫台数増加	6	事業場の合併
7	その他（ ）				

CO₂排出量が増加した理由説明（その他、関係書類の確認）

平成○○年○月、●●整備工場に△△整備工場が合併されたことにより、営業日や営業時間

が変更され在庫台数が大幅に増加したため。

■環境に優しい新たな取り組み等の実施状況

- ・平成〇〇年〇〇月に、ISO14001を取得した。
- ・EV充電ステーション（電気自動車用高速充電設備）を設置した。
- ・事業場の照明をLEDに交換した。

■環境に優しい取り組み継続性について

環境に優しい取り組みの継続性を確認でき、表彰候補者として推薦します。

平成 〇〇年 〇〇月 〇〇日

「環境に優しい自動車整備事業場等」〇〇推進協議会

会長

〇〇 〇〇

印

【記入上の注意】

1. 「事業場等名称」「事業場等住所」欄は、表彰候補者として申請する事業場を記入すること。
2. 「CO₂排出量増加の理由」欄は、該当する数字を○で囲むこと。
3. 「CO₂排出量増加の理由」欄に○を付した項目について、それらの要旨を理由説明欄に記入すること。
4. CO₂排出量増加の理由を確認できる書類を添付すること。
5. 環境に優しい新たな取り組みを確認できる書類等を添付すること。

(注) これは様式1の裏面です。様式1は両面刷りで作成すること。